



SI3 新領域事業 (Universal NTN) BSS/OSS技術開発エンジニア

スカパーJSAT株式会社での募集です。法人営業 (その他) のご経験のある方は歓迎...

Job Information

Recruiter

JAC Recruitment Co., Ltd.

Hiring Company

スカパーJSAT株式会社

Job ID

1594161

Industry

Communication

Job Type

Permanent Full-time

Location

Tokyo - 23 Wards

Salary

6 million yen ~ 9 million yen

Work Hours

09:30 ~ 17:30

Holidays

【有給休暇】4月～9月までは入社日より10日付与となりますが、10月入社から減算される形となり、次年度4月には17日が付与され...

Refreshed

May 28th, 2026 16:21

General Requirements

Career Level

Mid Career

Minimum English Level

Fluent

Minimum Japanese Level

Native

Minimum Education Level

High-School

Visa Status

Permission to work in Japan required

Job Description

【求人No NJB2318685】

■ミッション

主に以下の業務を担当していただきます。BSSとOSSは専門性に依りてどちらか片方または両方を担当いただきます。(事業の拡張により内容も変化します)

(1) BSS技術開発のリード

- ・ Universal NTNのBSS (Business Support Systems) 技術開発プロジェクト全体の計画策定、実行、進捗管理
- ・ BSSに関する技術要件の定義、設計、構築、実装、検証プロセス全般の監督
- ・ 顧客管理、課金、収益管理、CRMなどのBSS機能の開発および最適化

(2) OSS技術開発のリード

- ・ Universal NTNのOSS (Operations Support Systems) 技術開発プロジェクト全体の計画策定、実行、進捗管理
- ・ OSSに関する技術要件の定義、設計、構築、実装、検証プロセス全般の監督
- ・ ネットワーク管理、サービスプロビジョニング、障害管理、パフォーマンス管理などのOSS機能の開発および最適化
- (3) ベンダー管理
 - ・ ベンダー選定、契約交渉、パフォーマンス管理
 - ・ ベンダーとの技術的な打ち合わせや調整、問題解決
- (4) 技術開発および実装
 - ・ BSS/OSS関連ソリューションの開発、最適化、テストの指導
 - ・ 最新技術の導入と適用、パフォーマンス評価およびベンチマークテストの実施
- (5) プロジェクトの進捗報告およびコミュニケーション
 - ・ プロジェクトの進捗状況を経営層やステークホルダーに定期的に報告
 - ・ プロジェクトに関する会議の運営、ドキュメント作成、プレゼンテーションの実施

■期待する役割

NTN事業部に所属していただき、「仕事の内容」の業務について担当いただきます。
プロジェクトのメンバーとともに技術や事業の開発を進め、その後の経験等により、プロジェクトの主査やリーダーなどを担っていただくことを期待しています。

Required Skills

【必須要件】

- ・ BSSまたはOSSの商用化開発に関する5年以上の実務経験（要件定義、設計、構築、実装、検証等）
- ・ ベンダー管理を含むプロジェクトマネジメント経験
- ・ BSSまたはOSSに関する深い知識と経験
- ・ 優れたプロジェクト管理スキル、リーダーシップ、コミュニケーション能力
- ・ 高い問題解決能力と意思決定能力
- ・ ビジネス英語力（海外ベンダー・パートナー企業との交渉・調整が可能なレベル）

Company Description

■メディア事業：デジタル放送を運営するプラットフォーム事業者として、有料多チャンネル放送サービス「スカパー！」を運営※2021年現在、加入者数310万人■宇宙事業：日本全国はもちろんアジア全域・オセアニア・ロシア・中東・ハワイ・北米をカバーし衛星通信サービスを提供しています。衛星通信ネットワークは災害時にも途絶することがないため、全国の自治体や電気・ガス・石油などライフラインを支える多くの企業に防災・危機管理の通信インフラとして導入されるなど、暮らしの安心・安全を支えています。高品質のデジタル映像をリアルタイムで一斉配信できる衛星通信は、教育・医療・ビジネスなど幅広い分野でも活躍しており、山間部や離島、飛行機・船舶といった移動体などの地上回線での対応が難しい領域でも衛星通信は重要な存在となっています。今後、先端技術や新しいアイデアをもつ国内外のパートナーと組み、低軌道衛星ビジネス、衛星画像サービス、情報分析サービスなどの幅広い宇宙ビジネス領域も拡大していきます。
※2020年現在、衛星保有数 19機